

視 点

保険者機能が発揮される制度

財政審の建議や与党の社会保障改革に関する骨子では、国保保険料について市町村の医療費水準を反映させず算定基準も揃える完全統一の時期を明示せよなどと前倒しを迫っている。

保険料統一の必要性として、保険料変動の抑制と被保険者間の公平をあげ、前者は都道府県単位化で一定程度抑制されたし、「同じ所得・世帯構成なら同じ保険料」が公平だというのが、アクセス困難な中山間地域と病院が林立する都市部で大きな医療格差を抱え同じ保険料は果たして公平なのか。社会保険の本質は、給付と負担の関係が

明確で、両者の水準の合意に当事者自治が発揮されることだが、それには受けられる医療と保険料水準がある程度見合っていることが重要だ。

日本の医療保険は地域や同種同業の連帯をベースに保険集団を構成し、保険料徴収や予防健康づくりといった保険者機能を発揮してきた歴史的経緯に照らせば、医療費水準を保険料に一定程度反映させるのは十分合理性がある。医療費を適正化しても、保険料も下がらず、努力を支援する補助も廃止して、市町村は汗をかくだろうか。

財政当局は、保険者機能のうち医療

提供の効率化のみを偏重し、医療費適正化計画や地域医療構想を担う都道府県に国保の財政責任さえ負わせれば、効率化が進むとでも考えているようだ。

しかし、医療提供の問題は民間病院も多く集約・再編の合意形成は容易でなく、医師偏在など複雑系で、国保財政を持ち出しても何ら解決しない。

サービス範囲がより狭い介護保険まで、都道府県を財政責任主体にせよとまで言い出したが、ここは一度立ち止まり、社会保険の本質を踏まえ、国保保険料の完全統一の妥当性を含め政策転換すべきだろう。

社会保険旬報 目次

No.3008 2026年8月11日

座標

厚労事務次官に村山氏が就任
病院協連が経営実態踏まえ政府へ要望検討 …… 4
日慢協が攻めのリハビリ戦略を提言
令和7年の簡易生命表を公表 …………… 5

論評

医療DXとインボイス制度が実現する
『ステルス・ゼロ税率』への転換【構想編】
～カナダ方式を応用した「日本型Rebateシステム」
による損税問題の抜本的解決～
津留 英智 …… 6

論評

韓国の少子化対策に何を学ぶか
―「結婚を前提としない対策」の可能性
金 成垣 …… 14

ジュネーヴからの便り③

FIFA
中谷 祐貴子 …… 23

論評

医療情報基盤としての電子カルテの今後（2）
生成AI時代の病院サイバー対策（下）
―国・病院・ベンダーは何を実装すべきか
高橋 泰 …… 24

潮流

攻めの予防医療でUENOプランを発表 …… 30
健保連総会で事業報告などを承認 …… 32
食料品消費税率1%来年4月から2年 …… 33
「救急救命処置」に新規2件を追加へ …… 34
認知症本人が思いを語るイベントを開催 …… 35
OTC類似薬めぐる議論を分析 …… 36
令和6年度社会保障費用統計を公表 …… 37

NEWS

協会けんぽが6.5兆円超の準備金
運営委員会で意見 等 …………… 38

雇用・労働の動き …………… 41

編集室・ワードカプセル …………… 42